

平成 30 年 2 月 13 日

多賀町  
滋賀県

今月のイチオシ「花と緑の滋賀シリーズ」

## 多賀町の「フクジュソウ」を発信します

### ◆フクジュソウ

初春に花を咲かせ、春を告げる代表的な花のひとつです。夏まで光合成をおこない、夏になると地上部が枯れ、それから春まで地下で過ごす典型的なスプリング・エフェメラルです。花の大きさは3～4cmほどで、花弁は金属光沢のある鮮やかな黄色をしています。

花言葉は「永久の幸福」「思い出」「幸福を招く」「祝福」など。初春に花を咲かせるため「元日草（がんにつそう）」や「朔日草（ついたちそう）」といった別名を持ちます。福寿草という和名もまた新春を祝う意味があります。



### ◆フクジュソウトリビア<虫を引き寄せる戦略>

フクジュソウは花粉の媒介に虫を利用しますが、フクジュソウが咲く頃はまだ寒いので虫は多くありません。また、フクジュソウには花蜜がありません。

フクジュソウは光をよく反射する花弁を開き、パラポラアンテナのように花弁の中心に太陽光を集め、その熱で虫たちを引き寄せます。花弁は太陽光が当たると開き、日が陰ると閉じる仕組みになっています。ライバルである他の花が咲かない季節に花を咲かせ、太陽光で花弁に陽だまりを作り、越冬したハナアブを誘う工夫をしています。

### ◆滋賀県のフクジュソウ

県内では多賀町のほか、彦根市、旧米原町、旧伊吹町、旧永源寺町に分布していますが、園芸栽培用に乱獲され数がかかなり減っており、滋賀県レッドデータブック2015年版「滋賀県で大切にすべき野生生物」に掲載されている貴重な花です。

### ◆多賀町でフクジュソウを見るなら…

多賀町の北に位置する鈴鹿山系「霊仙山(りょうぜんざん)」がオススメです。標高 1,084 mの霊仙山に登るルートのうち、多賀町今畑(いまはた)の登山道から約2時間半登ると、山頂付近の日当たりのよい斜面でフクジュソウを見ることができます。



滋賀県ホームページに掲載している 滋賀の山ガイド「トレッキングの魅力と安全『滋賀の山を歩こう』」でも霊仙山コースマップなどを紹介しています。今年の春は霊仙山に登ってみませんか。

「霊仙山」 <http://www.pref.shiga.lg.jp/f/kanko/sangaku/files/ryouzenzan.pdf>

### **ご注意ください！**

#### ★有毒植物

フクジュソウは全草（茎・葉・花・根）に毒があり、特に根・茎には強い毒があります。地面から芽を出したばかりの頃はフキノトウと間違えやすく、死亡例も報告されています。フクジュソウは決して口にしないでください。

#### ★希少種

正月用の縁起の良い花としても出回っているフクジュソウですが、園芸栽培のために乱獲され希少種に指定されています。大変貴重な植物なので採集せず、「とる」のは写真だけにしましょう。貴重なフクジュソウと、その風景を皆さんで楽しみながら守ってください。

### ◆多賀の花の観察会

多賀植物観察の会では、毎月第 3 木曜日に多賀の花の観察会を開催しています。2005 年からスタートした観察会は、昨年 100 回を超えました。自然豊かな多賀町は見どころがたくさんあります。ぜひ、多賀の花を見にお越しください！

多賀の花の観察会 お問い合わせ先  
多賀町立博物館（多賀町四手 976 番地 2）  
TEL：0749-48-2077  
FAX：0749-48-8055



## 展望広がるカルスト台地と花の山

霊仙山は、鈴鹿山脈の北端に位置し、石灰岩からなる山で、頂上では360度のパノラマが広がり、琵琶湖や伊吹山はもちろん、白山や伊勢湾、時にはアルプスの山々までも見渡すことができます。

花も多く、田中澄江の「花の百名山」にもあげられ、早春のフクジュソウから、ミスミソウ、ニリンソウ、ヤマシャクヤク、イブキトリカブトなどを求めて多くの登山者が訪れます。

また、石灰岩からなる霊仙山は、カレンフェルトやドリーネなどカルスト台地特有の地形を見ることができます。近くには「河内の風穴」があり、鍾乳洞の中を散策することもできます。

霊仙山の名からわかりますように、周囲の山や峰には、経塚山や阿弥陀岳などがあり、周辺の山麓には宗教的な雰囲気がただよっています。

### 霊仙山の概要

霊仙山は、石灰岩のカルスト台地であり、地表の石灰岩が雨水によって溶かされ、複雑な形をした岩が林立するようなカレンフェルトや雨水や地下水に浸食（溶食）されてきたすりばち状の窪地であるドリーネなどの地形を見ることができます。

植物も石灰岩質を好む、フクジュソウやセツブンソウに出会うことができます。その地形や山頂からの眺望が素晴らしいことと、花の山としても有名です。山頂までには、

樽ヶ畑登山道、谷山谷登山道、河内登山道、柏原登山道、西南尾根道など多くの登山道がありますが、台風などの自然災害による登山道の崩れなどもありますので、事前に調べておくことが大切です。

また、山頂部は台地状に広いのでガスがかかっている時などは、現在地の把握等に十分注意しましょう。

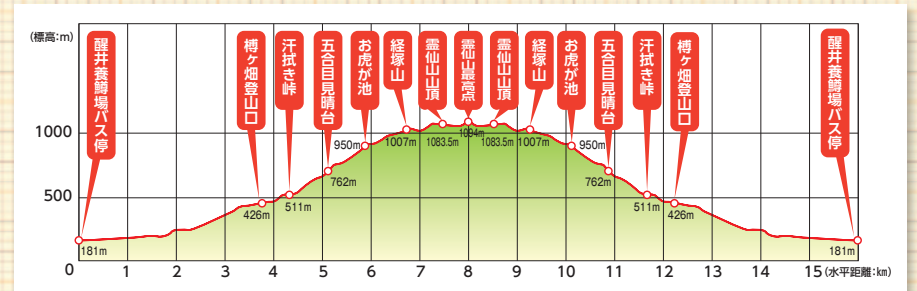
■標高 / 1,083.5m ■標高差 / 906.5m  
 ■地図 / 国土地理院 霊仙山・彦根東部



## コースのポイント



- A 登山口
- B 汗拭き峠
- C お虎が池
- D 霊仙山山頂
- E 霊仙山最高点



コースのバラエティ

霊仙山に登るコースには、いくつかのコースがありますが、ここでは2つのコースを紹介いたします。

季節や時間、体力、登山道の状況も考慮し、コースを選べば、いくつもの楽しみ方ができますので挑戦してみたいはいかがでしょうか。

① 樽ヶ畑コース

■行程 16km 6.5時間

醒井養鱒場でバスを降り、宗谷川沿いに林道を登っていきます。登山口には、東屋と案内板があり、ここでコースを確認し、登山道を進み樽ヶ畑の集落跡を通ると、山小屋「かなや」があるので飲物等を補給することができます。ここから本格的な登山道に入り、急なジグザグ道を登ります。汗拭き峠からは広葉樹の森が続きます。そのまま進むと5合目の見晴台に到着します。ここからも急なジグザグ道を登り、7合目に到着すると、前方が

開け霊仙山の山頂が見えてきます。お虎が池を通り、経塚山から南西方向に折り返し、カレンフェルトの中を進んでいくと、霊仙山に到着します。最高点はそこから南東の方向にあります。下山は、今来た登山道を引き返します。7合目からは急な下り坂が続きますので、注意が必要です。

② 霊仙山・西南尾根周遊コース

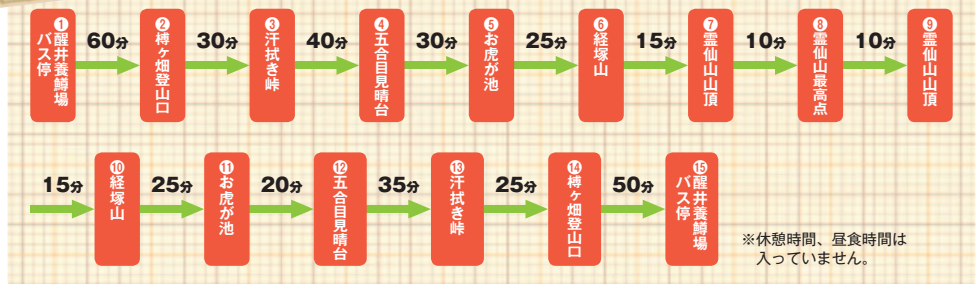
■行程 18.5km 8時間

汗拭き峠から落合集落に下り、今畑から登り、西南尾根を登り、霊仙山、経塚山を周遊し、汗拭き峠に帰るコースです。汗拭き峠から大洞谷沿いを下り、落合を経由し、今畑登山口から、植林地、ブナの混ざる登山道を登り、笹峠を過ぎて、急坂を登ります。急坂を登り、近江展望台、南霊岳を経由し、霊仙山最高点を目指します。霊仙山から経塚山、見晴台を経由し、汗拭き峠に戻ります。

コースマップ



コースタイム



※休憩時間、昼食時間は入っていません。

地元のおすすめ

醒井地蔵川

中山道の宿場町として栄え、今も古い町並が残る醒井宿に流れる清流で、7~8月頃に、清流に咲く梅の花に似たバイカモが有名です。



■所在地/米原市醒井  
■電話/0749-58-2227(米原観光協会)

醒井水の宿駅

米原市の観光の拠点でJR醒ヶ井駅前にあり、野菜や果物、観光土産や記念品などをそろえた特産品販売所です。



■所在地/米原市醒井688番地10  
■電話/0749-54-8222

コラム

御池岳

御池岳は、山頂部に広大なカルスト台地が広がっており、名前の由来となっているドリーネに水が溜った池が点在しています。花の百名山でもあり多くの花を見ることができます。



河内の風穴

霊仙山のカルスト地帯にある鍾乳洞で、入口は高さ1mと小さいですが、洞内は3層構造で小洞が複雑につながっており、総面積1,544㎡と広く、関西でも有数の鍾乳洞といわれています。



アクセス

行き 京都駅 JR 65分 → 醒ヶ井駅 バス 10分 → 醒井養鱒場バス停

公共交通機関

帰り 醒井養鱒場バス停 バス 10分 → 醒ヶ井駅 JR 65分 → 京都駅

お問合せ

多賀観光協会 TEL 0749-48-2361  
米原観光協会 TEL 0749-58-2227 (土日定休)